

木馬会会報 (第116号)

* 安田記念特集 *



99/06/14

～木馬達の予想～

本誌 トウインクルダンディ

◎グラスワンダー ○キョウエイマーチ ▲キングヘイロー

△エアジハード、シーキングザパール、ツクバシンフォニー、ムータティール

東京マイルがこの馬にとって適距離なのか疑問も残るが、前走をみるかぎりグラスワンダーではないだろう。唯一の不安は重馬場だが、昨年のような極悪馬場にはなりそうになく、このメンバーなら2着は確保するだろう。相手筆頭は、逃げ馬苦戦のデータはあるが、秋山に“鞍上強化”し、さらに単騎逃げがうてそうなキョウエイマーチ。すんなり平均ペースなら、ダイタクヘリオスのような華麗な逃げも期待できるだろう。キングヘイローは3箇月ぶりが気にかかるため、3番手評価まで。

メニーフレンズ

メニーフレンズの「僕の予想は穴だらけ」

「ダービーの穴人気は来ない」という格言のとおり、前日から突如脚光を浴びた我が「チョウカイリョウガ」は見事、馬群に沈んでくれました！スポーツ新聞のバカ！！

でも、前日のエプソムカップは、前々から狙っていた「アメリカンボス」が勝って嬉しかった。単勝が46倍もついたので、ダービーに大金をぶちこむことができました。でも、まさか前日の「6-6」が出ちゃうとはなあ。そこまではさすがに読めなかった。ところで、「アメリカンボス」といえばキングマンボ産駒。前日のベルモンドSでカルティマチックの3冠を阻止した「レモンドロップキッド」という馬も、キングマンボの産駒か孫でした。ブームになりつつあるのだろうか。

ところで、ダービーの表彰式を見ていたら、「生産者」のお立ち台にノーザンファーム代表の吉田勝哉氏の顔がありました。数年前の社台の牧場ツアーの時に、話相手がなくボケーとしていた私に、兄の照哉氏（社台ファーム代表）と話し掛けてくれて、「将来は、ノーザンファームに宿泊施設を作り、総合的なレジャーランドにするんだ！」と熱く語っていた勝哉氏の顔がいまだに印象にあります。今後のご活躍をお祈りしています。

いつものように、前置きが長くなってしまいました、

さて安田記念。昔はハンデ戦でそれなりに荒れるレースでしたが、別定戦になった最近は、おとなしくなった今一つ、つまりません。

そこで、本命はオークスの例に倣ったわけではありませんが、一戦ごとに「勝利」と「惨敗」を繰り返している「エガオヲミセテ」にしました。あの「ヒコーキグモ」と同じ馬主さんであります、別に名前前で選んだわけではありません。念のため。

◎ エガオヲミセテ、○グラスワンダー、▲ワシントンカラー

△エアジハード、キングヘイロー、シーキングパール、ツクバシンフォニー

ライスシャワシャワの予想はよそう

◎…グラスワンダー

○…キングヘイロー、▲…シーキングザパール、△…エアジハード

ダービーの後は安田記念。昨年はタイキシャトルのためのレースだったが、今年はグラスワンダーのもの。なにせ、グラスワンダーと私は相性が良い。有馬記念、京王杯SC。タイキシャトルの後を継げるのはこの馬しかいないだろう。有馬記念こそ能力の違いで2,500mを勝ったが、マイル前後が一番この馬にはいいのではないか。それにしても前走の上がりが33.3。これだけの決め手を持っていれば、よほどのことがない限り差し切れる。

相手にはマイル路線&善臣という4才時からの方向転換で活路を見出したキングヘイロー。東京新聞杯、中山記念の2レースを見る限り、クラシック路線でいま一つ足りないところを見せていたヘイローの姿はない。今回も好勝負するだろう。

わけのわからん外国馬はほっといて、シーキングザパールまで加えた3頭の勝負になるだろう。念のため、エアジハードまで保険を掛ける。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

ダービーはとても面白いレースだった。強い馬がみんな自分の力を出し切ったように思う。最後は騎手の差だった。上位3頭は早く動いた馬ほど着順は下になった。やっぱり武はうまいが、馬もバドックと返し馬では、皐月賞の時とは比べものにならないほど落ち着いており、これはベガでしようがないと思ったものだ。

さて、安田記念だが、Kヘイローは中距離以下なら堅実。間隔を長めに取ったのも予定の行動、左回りも得意。そして今年のメンツを考え合わせると最も有力。Gワンダーは前走次元の違う走りを見せたが、しまい33.3秒を使っただけは反動の方が心配になる。反動が杞憂に終わればあっさりだが、一応軸としてはヘイローの下と見る。

それ以外の馬だが、日本馬の中ではAジハードか。もともとの素質がようやく開花した感じだし、鞍上蛇名もいだろう。穴では末脚勝負にけるエガオヲミセテ。意外なところで穴を出す馬で、今回も牝馬の河内と、一発を狙ってくるだろう。続いて外国馬だが、Oエクスプレスは去年は時計のかかる馬場に助けられたのではないか。今週は月曜に予想しないといけないので週末の天気はわからないが、重馬場要員と考えておけば良いだろう。もう1頭の香港馬ホーリーグレイルはOエクスプレスにくっついてきただけ。短距離の逃げ馬でとても府中のマイルはもたない。UAEの2頭だが、ムータティールはマイル1分34秒台があるように、早い馬場にも対応できそう。例年、外国産馬は日本緒戦の京王杯SCで好走することが多く、そういった意味ではぶっつけで安田に来たのは好判断だ。穴は良馬場ならエガオヲミセテ、重馬場ならOエクスプレス。

人気になるところでは、Sパールはやはりマイルは長い。今期G1絶好調の武をもってしてもどうか？

